

議会だより

3月定例会

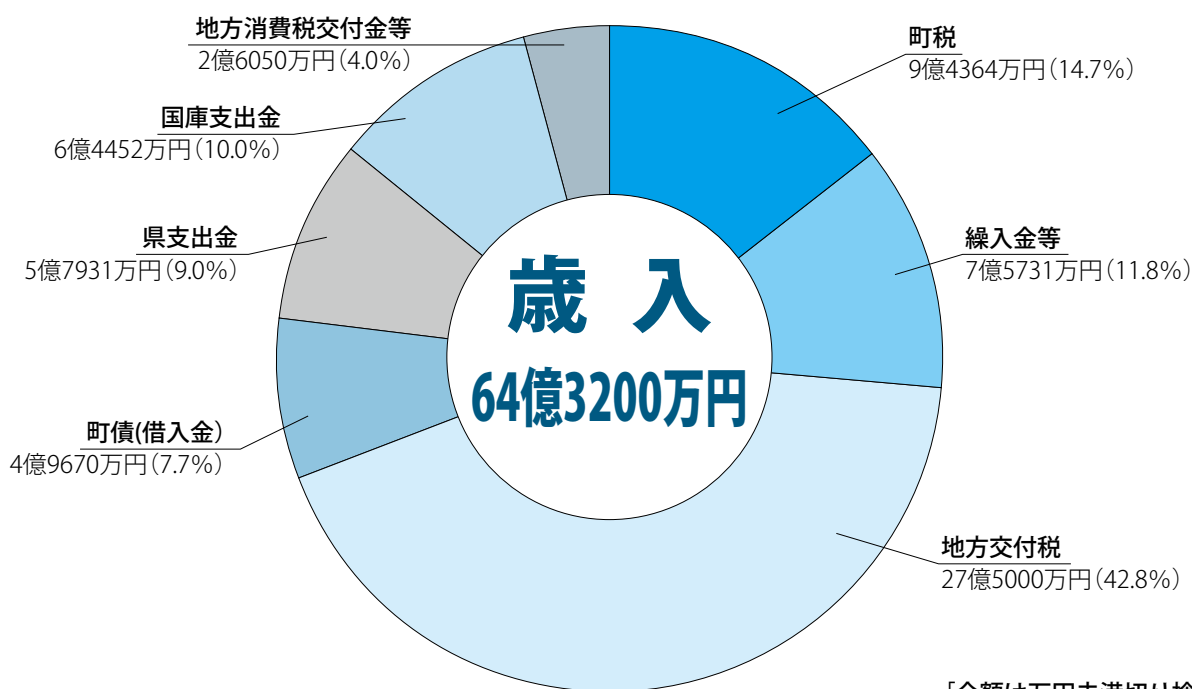
- 3 道の駅「きなんせ岩美」が7月オープン
- 4 本会議での議案に対する質疑
- 10 一般質問 5議員が町政^{ただ}を質す
- 16 ふるさと岩美への感謝のメッセージ

田後神社 春季例大祭
(4月20日)

美」が7月オープン

消費拡大を図る

入るお金



3月定例会は、3月6日から19日まで、14日間の会期で開きました。

今議会に提案された26年度補正予算11議案、27年度当初予算10議案、条例の設定および改正など24議案のすべてを、原案どおり可決しました。

新たに実施する主な事業

●道の駅「きなんせ岩美」を7月にオープン

- ・旬に合わせたイベント開催
- ・生産者の収益性改善をめざし、水産物や農産物を加工

- ・町の魅力を発信する総合窓口を設置し、ガイドスタッフを配置

- ・電気自動車用急速充電器を整備
- ・太陽光発電蓄電システムを整備

●絵本を通じて親子がふれあい、心豊かに子ども

- 成長できるよう、ブックサード事業を実施
- 妊娠期から出産期の不安を解消し、安心してマタニティライフを過せるよう両親学級を開催

- 健診など健康づくりに継続して取り組む町民にポイントを付与し、ポイントに応じて特典が得られる「いわみ健康マイポイント事業」の実施

拡充する主な事業

- 岩美高校の魅力化プロジェクトの支援のため、地域おこし協力隊員を2名配置

- 保育料の無料化を、第3子以降の全年齢に拡大

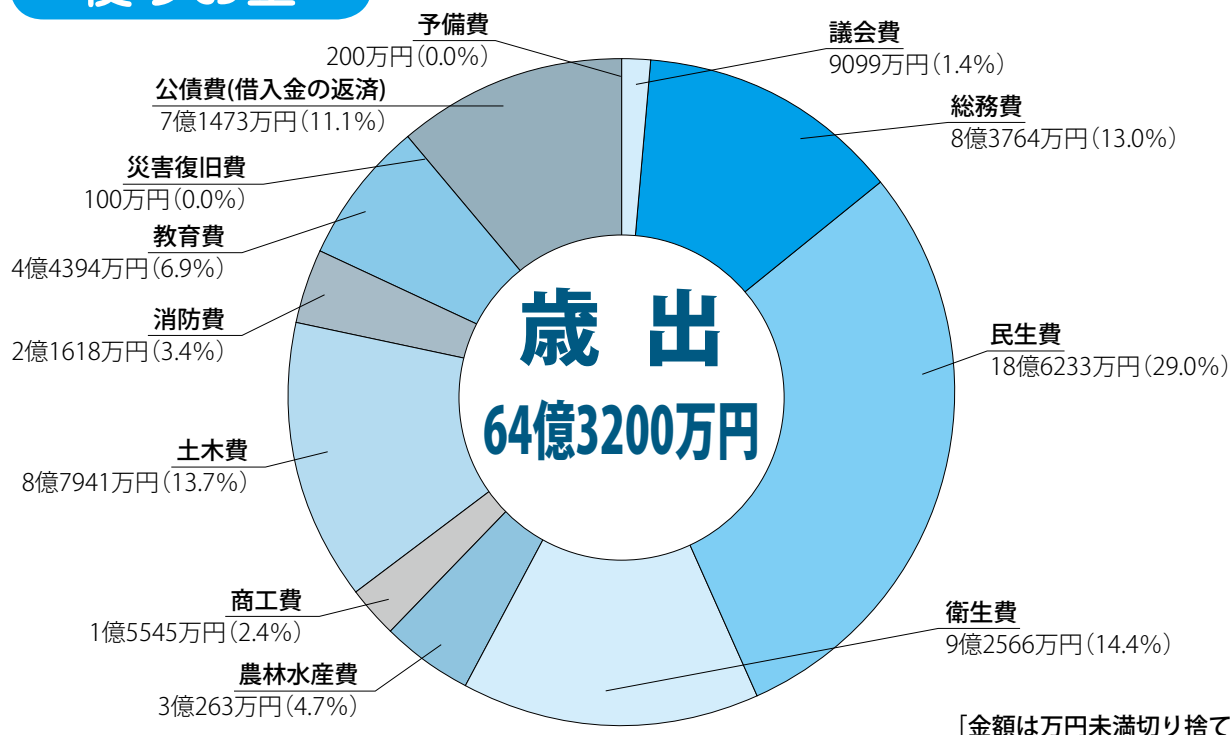
- 30人学級を小学校6年生でも実施（小・中学校の全学年が30人学級編成となる）

平成27年度当初予算

道の駅「きなんせ岩

地元農水産物の

使うお金



特別会計・企業会計予算額

会計名		予算額
特別会計	住宅新築資金等貸付	129 万円
	代替バス運送事業	3410 万円
	後期高齢者医療	1 億 3797 万円
	国民健康保険	16 億 5445 万円
	集落排水処理事業	1 億 1427 万円
	公共下水道事業	4 億 2462 万円
	介護保険	16 億 677 万円
企業会計	水道事業	2 億 5935 万円
	病院事業	20 億 8939 万円

- 防災頭巾、毛布、簡易トイレなど購入
- 0歳児の保護者に6ヶ月分のおむつ代を助成
- 若者世帯、子育て世帯に住宅新築・リフォーム資金の助成を拡充
- 高校1年生に3ヶ月分の通学定期代を助成
- 結婚記念写真撮影費に助成
- 25パーセントプレミアム付き商品券発行

2月23日臨時会で可決した27年度実施する主な事業

新年度議案の審議

本会議 (3月9・12日)

27年度関係議案(条例・予算)
一括説明・質疑



付託

予算審査特別委員会

27年度予算審査
審査(3月12・13・17日)

常任委員会

27年度条例審査
審査(3月13日)



報告

本会議 (3月19日)

各常任委員長報告(条例)
予算審査特別委員長報告(予算)
質疑・討論・採決

本会議での議案に対する質疑

一般会計予算

歳入

問 海岸漂着物清掃事業費補助金は、昨年12月補正で増額された。昨年の当初予算と同額となっているが、不足はないか。

答 県の10割補助の補助金だ。不足が生じた場合は追加が約束される。集中豪雨などで大量に漂着した場合は、県が直接に処理する。

問 いわみふるさと音楽堂の使用料が3000円となっている。利用促進の方針はどうか。積極的に働きかけるべきだ。

答 整備した目的に沿った活動ができるよう、町内の音楽関係者、整備に関わってきた方々と話し合いをもって、利用計画をつくる。また、近隣の自治体とも連携をとって会場利用につなげていきたい。



トラロックフェスティバル
(ふるさと音楽堂 26年8月30日)



岩美高校ブルーマーティンオーケストラ定期演奏会
(27年2月8日)

岩美高校魅力化プロジェクト

問 岩美高校に地域協力隊員を2名配置し、岩美高校の魅力化プロジェクトの専任コーディネーター役を果たしてもらいたいということだが、

① 岩美高校との協議はどの程度進んでいるか。

② 協力隊員の役割として、コーディネーターのほかに、岩美の魅力を都会に発信して、定住人口の流入を図るといった、コーディネーターに専念

するだけでも大変だ。2つも求めるのはどうか。

答 ① 岩美高校では校長先生から職員会に提案され、協議が進められている。

② 協力隊員の主任務は岩美高校の魅力化プロジェクトの推進にあり、岩美町に住んでもらうことから、岩美のことを発信してもらい、結果として定住、流入につながればという気持ちだ。

保育所運営費

問 毎年、保育士として多くの臨時職員を募集しているが、いまの時点で必要な人数は確保できているか。

答 児童数を年度中途の入所も含め375人と見込み、正規職員、臨時職員とも確保できている。

U-Jターン推進

問 26年度中に空き家条例を制定するといったが、出来上がっていない理由は何か。

答 危険空き家の判定、取り壊し後の税負担、取り壊しの費用助成などについて、役場内で協議してきた。

26年度に空き家対策法が成立した。国が基本指針を定め、市町村はそれに即した計画を定めることができ、国、県は財政措置を講じることになっている。

国、県のかかわりを見据えながら条例制定をしよつという判断にたっている。

山陰海岸ジオパーク推進

問 今年、APGNのシンポジウムが国内初開催される。ジオパークの機運盛り上げの取り組みはどうか。

答 26年から関連団体に働きかけ、26年度を上回る団体から要望、計画を出していただいており、予算付けもして進めていきたいと考えている。

APGNとは

アジア太平洋ジオパークネットワークの略称。世界ジオパークネットワークに加盟しているアジア太平洋地域のジオパークで構成される組織。シンポジウムは、2年ごとに開催している国際会議で、今年9月に日本で初めて山陰海岸ジオパークで開催される。



第3回APGN済州シンポジウムで山陰海岸ジオパークを代表して大会旗を受けとる榎本町長（25年9月11日）

土曜授業

問 土曜授業の中の授業は、県が責任を持ってやることだ。

町から要請すべきだ。

答 県費負担教員なので、土曜授業は県下一斉で行なうべきではないかということは、県教育委員会に対し主張している。

公共下水道事業 特別会計予算

問 給与費明細書記載の給与の昇給率が、一般会計の平均値と同じ率になっているが、各会計毎に違いがあれば、そう記載すべきではないか。

答 給与明細書の備考欄の改定率については、従前から人事院勧告の率を表示させていただくということできており、理解していただきたい。

センターなど、医療と介護の関係者で協議会をつくり、医療と介護の問題の掌握と解決策などを協議する。協議会の事務局に鳥取市から専門職を派遣し、医師会も担当者を派遣し、その人件費を負担する。

町民にとっては、安心して地域で暮らし続けること、自宅で家族に見守られながら最後を迎えることができるということなどを念頭においている。

集落排水処理事業 特別会計予算

問 委託料が昨年より減額になっているが、26年度に行なった施設の診断結果に基づく対策は盛り込まれているのか。

答 診断の終了が12月末ということもあり、新年度の予算に反映させているものはない。

診断結果に基づいて66年までの整備についての指針等を策定しており、大きな修理はないと見込み、当面は消耗部品の取り換えなどで維持管理を図っていききたい。

介護保険 特別会計予算

問 在宅医療介護連携推進事業は、事業主体はどこか、町民はどのような恩恵を受けるのか。

答 東部の医療圏域の中で鳥取市と4町が鳥取因幡定住自立圏協定に基づいて事業を進めるもので、東部医師会も加わって進める。

医師会、歯科医師会、薬剤師会、老人保健施設協会、老人福祉施設協会、町村の地域包括支援

予算審査特別委員会の審査

27年度の予算に関する10議案を、議長を除く議員全員で構成する特別委員会（芝岡みどり委員長）を設置して審査しました。

この予算審査特別委員会は、総務教育、産業福祉の各分科会で審査を分担し、各分科会委員長の報告をもとに予算議案全体の審査を行いました。

その結果、いずれも原案のとおり可決すべきものとなりました。主な審査状況は、次のとおりです。

一般会計

【歳入】

問 町税の確保にどう取り組んでいくか。

答 納税貯蓄組合の育成を図り、あわせて税負担の公平を保つ意味でも、悪質な滞納者には厳しい姿勢で臨み、税収の確保に努めたい。

鳥取県地方税滞納整理機構での県、他市町との連携によって、職員の徴収能力の向上を図りながら取り組みたい。

【歳出】

企画費

問 地域おこし協力隊員2名が民宿経営を行っているが、町の観光産業の活性化のため、増やすことはできないか。

答 地区観光協会と連携して民宿廃業者や高齢の民宿経営者へ出向き、地域おこし協力隊の受入について交渉しているが、難しい。



大羽尾で民宿「龍神荘」の経営をしている協力隊の間淵さん

社会福祉総務費

問 27年度はどのように男女共同参画を進めていくのか。

答 現在の計画策定から5年を経過するため、計画の達成状況と新たな計画策定のための町民アンケートの実施や子育てセミナーの開催、男女共同参画審議会の開催を計画している。

問 臨時福祉給付金について、該当者に十分な周知と、高齢などで手続きが困難な対象者への支援を行いたい。

答 広報「いわみ」、行政無線などで周知し申請勧奨を行い、10月から3ヶ月間申請を受け付ける。高齢などで手続きが困難な場合は、



牧谷で民宿「旅人の宿NOTE」の経営をしている協力隊の小林さん

訪問事業や民生児童委員の活動を通じて、個別の状況に応じた支援を行う。

問 民生児童委員の処遇改善については、民生児童委員協議会と相談しながら、同協議会の活動費の助成として取り組みたいと町から説明を受けているが、協議会から要望はなかったのか。

答 協議会の活動に必要な経費があれば、福祉課に申し出ていただくよう、役員会などに伝えている。

また、民生児童委員が地域の中での自主的な活動に要する経費は、個別の事業に対する補助の中で対応している。新たに必要な経費が発生した場合は、改めて検討したい。

保健衛生総務費

問 「いわみ健康マイポイント」事業に参加する参加者の見込みはどうか。

答 事業の初年度であり、参加人数の予測が困難だ。

広報「いわみ」やケーブルテレビで事業を広くPRし、参加者を多く集めるように努める。

農業総務費

問 岩美町振興公社での農産物の販売はどのようになるのか。

答 公社の理事会で、道の駅へ一本化する方向で27年度に検討するようになっている。

林業振興費

問 海岸部にはまだ多くの枯木があり景観が悪い、対策をどのように考えているか。

答 26年度も請負差額が多く出て計画より多くの伐採ができたが、まだ多くの枯木がある。

この事業は県の補助事業であり、予算の増額について県と協議したい。

商工業振興費

問 移動販売車運営助成事業費が計上していないが、事業は継続されるのか。

答 助成期間が終了したため、予算計上していないが、事業は継続される。

水防費

問 水防訓練の実施時期、規模は。また、各地区別に訓練を行ってはどうか。

答 出水期前の6月頃に、蒲生川河川敷で町消防団各分団から代表を募って、土のう積み工や木流し工などの水防技術の訓練を行う。

各地区別の訓練は、分団長と協議して検討する。

観光費

問 多言語観光看板の設置費が計上されているが、さらに通訳する人を配置してはどうか。

答 外国人観光客は年々増加傾向にあるが、通訳者の配置が必要なほどではないと認識している。

タブレットによる外国語通訳のシステムを観光会館に導入する予定だ。

また、県と町が観光地や観光施設のWiFi環境を整備し、外国人に対応する環境の拡充を図りたい。



塩づくり体験を見学する外国人旅行者
(東コミュニティーセンター)

教育費

問 スクールソーシャルワーカーの活用状況と27年度の取り組みは。

答 26年度は、105人の児童生徒に関わっている。27年度も引き続き職員1名を配置し、関係機関と連携しながら取り組んでいきたい。

スクールソーシャルワーカーとは

子ども達が、学校や家庭において出会う様々な困難を、子ども達の側に立って解決するためのサポートシステム。

代替バス運送事業特別会計

問 一年を通じて、アニメ「Freee!」ファンは来町していると思われるが、町営バスの使用料が減っているのはなぜか。

答 レンタサイクルの貸出しや、車の来町により減少していると考えられる。一般利用者についても、小田線、田後・陸上線とも減少傾向にある。

国民健康保険特別会計

問 保険者の一本化に向けての現状と町の対応は。

答 30年を目標として進められているが、市町村と鳥取県国民健康保険団体連合会との役割分担を見直し、合理化を図る必要がある。

市町村が激変緩和のための措置ができるよう、また、国にも財政的な責任を求めていく必要がある。

病院事業会計

問 今年から病院が実施する訪問看護ステーション事業の取り組みは。

答 高齢化社会において、在宅での高齢者支援という課題に対する一つの方策であると考えている。

高齢化社会を迎え、将来的には、町内に網の目のように看護師が行き渡るよう病院の総合力をいかして、ステーション事業に取り組んでいきたい。

26年度補正予算

26年度補正予算11議案を3月6日に審議しました。その概要は次のとおりです。

一般会計補正予算

5790万円減額し、総額66億3800万円とした。

歳出の主なもの

財政一般管理費 162万円増額

ふるさと納税の受付発送管理システムの導入経費を増額

地方バス路線維持費補助金 766万円増額

岩井線2系統の国庫補助対象外部分のバス事業者への町負担金。

防火水槽整備事業費 915万円増額

平野集落内に整備。

街路灯維持管理費 152万円増額

電気代と街路灯の修繕費が不足したため。

沖合底びき網漁業生産体制存続事業費

487万円減額

2隻から1隻となったため。

陸上養殖推進事業費

318万円減額

汲み上げ井戸の掘削工法が浅掘になったため。

観光誘致宣伝事業費 151万円減額

アニメ制作会社から使用許可が得られず、町営バスとレンタサイクルのラッピングを取り止めたため。

中小企業小口融資貸付金

227万円減額

新規貸付けの希望がなかったため。

学校給食共同調理場運営費

184万円増額

食器などの買い換えのため。

公共下水道事業 特別会計

水洗便所等改造資金制度融資事業費

129万円減額

新規貸付分3件を見込んでいたが、1件の貸付であったため。

議会で救急救命講習を受講しました

岩美病院では、“助かる命を一人でも救おう”と、心肺蘇生法（人工呼吸＋胸骨圧迫）の知識とAEDの使い方を多くの町民に身に付けてもらう取り組みを進めています。

議会は3月定例会中に、神谷剛副院長（当時）と東部消防局職員、岩美病院職員から指導を受けました。

議員全員が参加し、額に汗しながら人工呼吸と胸骨圧迫に挑戦し、AED（自動体外式除細動器）の使い方を学びました。

一回の経験に終わらせず、引き続き努力したいものです。



指定管理者の更新

指定管理者の更新時期を迎えたり施設について、27年度から3年間、引き続きの団体を指定管理者にすることに決定しました。

施設名	指定管理者
観光会館	岩美町観光協会
東浜海岸野外施設	東浜観光協会
浦富第1駐車場	岩美町観光協会
網代漁港運動公園	東因ソフトボールリーグ
蒲生活活性化施設（加工室及び加工業務上使用する設備）	一寸法師の郷里づくり協議会

請願・陳情審査結果

件名	結果	賛否の状況	不採択理由
集団的自衛権関連法案を国会に提出しないよう求める請願書 提出者：鳥取市西品治806 憲法改悪反対鳥取県共同センター代表 田中 暁 紹介議員：田中克美議員	不採択	(採択) 松井、日出嶋、 田中克 (不採択) 寺垣、杉村、 宮本、川口、 田中伸、澤、柳	国防に関することは国の専権事項であり、地方議会が関与すべき内容ではない。
治安維持法犠牲者に国家賠償を求める請願書 提出者：鳥取市立川町6丁目34番地 市住9の2 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟鳥取県本部会長 保田睦美 紹介議員：田中克美議員	不採択	(採択) 杉村、田中克 (不採択) 寺垣、宮本、 川口、田中伸、 松井、澤、 日出嶋、柳	国で結論を出すべき事項であり、地方議会が関与すべき内容ではない。
年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める請願 提出者：鳥取市相生町4丁目402-33 全日本年金者組合鳥取県本部東部支部支部長 市谷尚三 紹介議員：田中克美議員	不採択	(採択) 日出嶋、田中克 (不採択) 寺垣、杉村、 宮本、川口、 田中伸、松井、澤、 柳	少子化が進む中で、年金制度を維持するためには、支給額の削減、マクロ経済スライド制の導入はやむを得ない。
中学校で使用する歴史・公民教科書の採択基準に関する陳情 提出者：東伯郡琴浦町笹津250 教育を考える鳥取県民の会会長 河合鎮徳	不採択	(採択) 松井、澤 (不採択) 寺垣、杉村、 宮本、川口、 田中伸、日出嶋、 田中克、柳	政治が教育に果たすべき責任は、条件整備などにより教育の営みを支えることであり、この陳情は教育行政に困惑を与える。
教科書採択改善のために、総合教育会議（設置）の準備に関する陳情について 提出者：東伯郡琴浦町笹津250 教育を考える鳥取県民の会会長 河合鎮徳	不採択	全会一致	この陳情の記載事項に事実と異なった内容が記載されている

総合戦略アンケートを中学生以上に実施せよ

杉村 宏議員

中学生には別の方法で行いたい

榎本町長



杉村 宏議員

杉村 岩美町総合戦略策定において、中学生以上の全町民を対象にアンケートを実施してはどうか。

町長 対象としているのは、15歳から70歳までの1000名である。中学生には、別に実施したい。

杉村 中学生以上の全町民を対象とする姿勢を示すことが必要ではないか。

町長 全町民を対象にしたアンケートの必要性は考えていない。

杉村 アンケートの中に自由意見が記載できる欄を設けるべきと思うがどうか。

町長 今回のアンケートも当然考えている。

杉村 アンケート希望のある方についてはどう考えているか。

町長 年齢の階層、地域のバランスなどで抽出させていただく。

杉村 自由意見の中に、中央公民館の建て替えに対する意見などがあつた時は参考とするか。

町長 総合戦略に盛り込まれる意見なのか整理しながら対応したい。

杉村 地方創生事業を進めていく上で、住民の事

情に詳しい浦富4自治会、大岩2自治会と他地区を合わせた13の自治会を対象とした、新たな自治会長会について、協議すべきでないか。

町長 これまで長い間、築いてこられた自治組織を、改めて分けるということは、考えていない。



地域創生町民集会 (27年3月8日 中央公民館)

杉村 各地区や集落からの要望、陳情、それに対する町の対応や回答、実施結果の閲覧などができるようにしてはどうか。

町長 所管の部署で閲覧できる。

道の駅社長の選定は進んでいるか

杉村 宏議員

取締役会で検討している

榎本町長

杉村 現在、町長が代表取締役となっているが、開業時には専任の方を配置するとなっている。選定は進んでいるのか。

町長 株主総会での議決事項となる。取締役会でしっかり練らせていただきたい。

杉村 27年度の人件費の中で代表取締役社長の報酬が含まれていないが、無給の方を想定しているのか。

町長 取締役で議論を深めて、適任者をお願いし

たい。

杉村 町民の大きな期待がある中で、かなめとなる駅長が、過重な労働にならないよう、今後選定される代表取締役からの配慮も、必要ではないか。

町長 過重労働や労働基準法に違反するような就業にならないように、対応していく。

通学路を総点検せよ

芝岡みどり議員

通学路安全対策推進会議で通学環境を整備したい

寺西教育長



芝岡みどり議員

芝岡 町内各地で道路工事が行われているが、子どもの通学路の安全確保はどうか。

教育長 事前に発注者、施工業者、学校、教育委員会などで個々の案件ごとに協議している。

工期が長い場合は、工事内容が変わることに協議を行っている。

芝岡 通学路には歩道の整備が必要な箇所があるが、総点検についての見解を伺う。

教育長 点検は安全を確保するため継続的に進め、通学路の安全対策を

検討する。

通学路安全対策推進会議を27年3月に設置し、関係機関と情報を共有しながら、よりよい通学環境の整備をめざしていきたい。

芝岡 子どもを取り巻く犯罪や災害、事故などの対策として防犯のまちづくりはどう取り組むのか。

教育長 学校では、火災や地震といった災害からの訓練とあわせて、不審者に対する訓練や指導を行っている。

さらに小学校では、希望する保護者に、まちCOMメールを使って情報提供を行っている。

地域では、ボランティアによる見守り隊の実施、各地区の青少年育成協議会の方々とのパトロールを行っている。



自転車通学の様子



登下校見守りの様子（岩美北小学校）

胃がんリスク検診を導入してはどうか

芝岡みどり議員

胃透視、胃カメラの検査を拡大すべき

榎本町長

芝岡 特定健診時に、胃がんリスク検診を導入してはどうか。

町長 町としてはリスク検診を広めるより、胃透視、胃カメラの検査を徹底的に拡大していきたい。

岩美病院の医師とも十分協議した結論だ。

芝岡 現在、中学校卒業までの医療費助成が適用されているが、高校生まで助成してはどうか。

町長 県と歩調を合わせたい。

芝岡 岩美病院は救急病院に指定されているが、救急搬送の依頼があった場合、どう対応しているか。

病院事業管理者 原則として断らない。

岩美病院は東部の医療圏域に属し、3段階に分かれており、第2次救急医療機関に指定されている。

芝岡 認知症患者の救急搬送の対応はどうか。

病院事業管理者 救急搬送と同じ例により、受け入れを行っている。

ただし、症状が認知症に限定される患者は、東部医療圏域の精神科救急医療機関に搬送する。

**中公の建て替えは、検討の前に
町民の声を聞け** 日出嶋香代子議員

検討委員会で協議する

榎本町長



日出嶋香代子議員

日出嶋 町長の施政方針の中に、中央公民館は5年をめどに建て替えるところがあるが、まず、住民の声を聞く場所を開催してはどうか。

町長 検討委員会を設置して、基本構想を策定予定だが、議会、検討委員会とよく相談して、そうした手法も協議したい。

日出嶋 多数の町民参加のワークショップなどで意見を出してもらい、検討委員会で検討するのが、協働のまちづくりだと思うがどうか。



第1回 中央公民館建設検討委員会（27年4月14日）

できる形も、検討していきたい。

日出嶋 町が保有している美術品などを、展示するコーナーを設置してはどうか。

町長 町の美術品は、役場などにほとんど展示してあるが、検討委員会の中で検討してもらうことになる。

日出嶋 一番重要なのは場所だと思うがどうか。

町長 駅や中学校に近い現位置が中心になると思う。

詳細な場所などは、これから検討する。

関西事務所の職員不在の対策はどうか 日出嶋香代子議員

**関西重視は変わらないが、
配置は困難**

榎本町長

日出嶋 町の関西事務所は、設置から5年経過したが、これからも設置するか。

町長 今後の再開を考えて、机だけ置いている。

日出嶋 関西事務所には、どのような職員が勤務するべきだと思うか。

町長 町のことをよく理解した、役場の中枢的な職員だと思う。

日出嶋 昨年からの1年間、職員が不在であったが、今後の対策はどうか。

町長 関西岩美倶楽部の総会、ウォーキング誘致鳥取ファンの集い、企業訪問などに倶楽部が関わってきた。

今後、本店である岩美町から関西にも積極的に出かけ、引き続き関西重視の姿勢で、観光、産物のPR、企業誘致にもしっかりと取り組みたい。

しかし、4月からジョオパーク推進協議会、後期高齢者医療広域連合に職員を派遣しなければならぬため、年明けから関西に職員を置くのは困難だ。

農業振興地域整備計画の見直しが必要 川口耕司議員

できるだけ早く見直したい

榎本町長



川口耕司議員

川口 農林業センサスが実施され、農家数は10年前よりも100軒少なくなった。

土地の有効利用と近代化のため、農業振興地域整備計画が策定されている。環境は変わってきているが計画の見直しはされてきたか。

町長 最終変更年度は11年だ。

計画したほ場整備や農道・水路も整備された。荒廃農地が進む中で、見直しが必要だ。

川口 将来の農業のあり方を考え、見直しは必要だ。

町長 単年度で仕上げることは、難しい。

できるだけ早い取り組みをさせていたきたい。

川口 農業者の高齢化、耕作放棄地の増加が進み、農地集積や集落農業の将来を明確にするため、人・農地プランがある。各集落での策定状況と今後の計画を問う。

町長 農地の利用、集約化を進める計画を描かなくてはならない。

策定済みの集落が銀山、岩井。

集落以外の策定予定は白地1組織と2人の認定農業者だ。

他地域にも積極的に働きかける。

川口 人・農地プランの作成、実行のため、地域連携推進員を雇用する計画は進んでいるか。

町長 農協の営農経験が豊富な方、普及員を務められた方などを探している。



人農地プラン集落説明会

川口 耕作放棄地を利用し、売電を目的とした太陽光発電事業が計画されている。

町が進めていくか。

町長 町が事業主体とはならない。

売電単価が引き下げられ、発電業者の参入は、困難。

川口 売電期間終了時にパネルが産業廃棄物で残る心配はないか。

産業建設課長 終了時に、原状回復を義務づけている。

有害鳥獣被害対策を充実せよ 川口耕司議員

対策を拡充したい

榎本町長

川口 有害鳥獣被害対策として、侵入防止柵更新の人的支援、捕獲奨励金の増額、狩猟登録費用の助成をどうするか。

指導していただける。捕獲奨励金の増額は検討する。

狩猟登録費用の助成は、猟友会と協議し、捕獲に当たる方の確保に努める。

町長 侵入防止柵については、新設は有害鳥獣駆除事業費補助金、更新は多面的機能の支払い交付金の対象としている。

人的支援は、鳥獣被害防止ボランティアのインシッシン団があり町内に5名おられ、柵設置などを

4町の保健所業務の実施を 県に求めよ

田中克美議員

議会と相談しながら対応し たい

榎本町長



田中克美議員

住民サービスの低下につながる懸念と財政負担はないことだけを確認しているのが現状だ。

田中 鳥取市は、中核市になることによって保健所を設置する。設置のための協議に岩美、八頭、智頭、若桜の4町がオブザーバー参加している。県、市からどのような働きかけがあったか。

町長 方向性をつかんでいないという実情にありながら、オブザーバー参加を求められた。参加することになったことを、議会にも町民にも知らせていないことを、お詫びする。

県が行っている4町管内の保健所事務を、県が鳥取市に委託するとしている。

田中 将来にわたって鳥取市が4町のためにやれるか心配だ。保健所がやるべき行政サービスを保障するために、医師、専門家の体制が必要だ。保健所がスタートする現時点で、できないからと県に支援を求めている鳥取市に、体制ができるのか心配だ。

4町域に対しては、今までどおり県がやるよう求めるべきだ。

町長 議会と相談しながら対応していきたい。

田中 保健所問題は新たな市町村合併、道州制につながると思う。対等である広域行政と



鳥取保健所

違って、今回の保健所業務は事実上吸収合併だ。このことも踏まえ、県に向かつてほしいと思うかどうか。

町長 しっかりと議会と議論しながら対応することと理解してほしい。

中央公民館改築時に移動図書館の検討を

田中克美議員

改築検討委員会で議論して

榎本町長

もらう

田中 中央公民館の建替えに際し、図書館も検討されると思う。図書館の役割をどう考えるか。

出向き、図書館との出会いの距離が近くなるのが大事だ。

教育長 社会教育の中で幅広い役割をもっていると思う。中央公民館の立替のときに、検討する視点の一つだと思う。

移動図書館専用の本、資料、専任の人が配置できたらすばらしい。公民館改築のいま、検討する機会だ。検討委員のみなさんと議論してほしい。

町長 教育の町に図書館がないのはダメだと思ひ、図書室を図書館にした。

町長 図書館には2人ぐらゐの図書司書が必要だと思っている。図書館をつくり変えるのと同時に移動図書館をということ

中央公民館改築に際しては、図書館だけは、同じ規模の町と同等かそれ以上のものにした。

はなかなか難しいと思う。やっているところの研究はしたい。検討委員会で議論してもらいたい。

田中 図書館に行けない人がある。その人たちのところに図書館の方から

地味ではあるがきちんとした図書館の整備をめざしたい。

27年第1回2月臨時会提出議案の結果と議員の賛否の状況

提出者	審議結果	議案名	寺垣智章	杉村宏	宮本純一	川口耕司	田中伸吾	松井俊明	澤治樹	日比嶋寛代子	芝岡みどり	田中克美	柳正敏	船木祥一
町長	可決	26年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

27年第2回3月議会提出議案の結果と議員の賛否の状況

提出者	審議結果	議案名	寺垣智章	杉村宏	宮本純一	川口耕司	田中伸吾	松井俊明	澤治樹	日比嶋寛代子	芝岡みどり	田中克美	柳正敏	船木祥一
町長	可決	26年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	26年度住宅新築資金等貸付特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	26年度代替バス運送事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	26年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	26年度集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	26年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	26年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	26年度訪問看護ステーション特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	26年度水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	26年度病院事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	岩美町観光会館の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	岩美町浦富第1駐車場の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	岩美町立東浜海岸野外施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	網代漁港運動公園の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○
町長	可決	岩美町蒲生活性化施設(加工室及び加工業務上使用する設備)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	行政手続条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	固定資産税の納期の特例に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	教育長の職務専念義務の特例に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	訪問看護ステーション事業の移管に伴う関係条例の整備に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	特別医療費助成条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	保育所の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	災害遺児手当支給条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	27年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	27年度住宅新築資金等貸付特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	27年度代替バス運送事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	27年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	27年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	27年度集落排水処理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	27年度公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	27年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
町長	可決	27年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○
町長	可決	27年度病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
議員	可決	議会委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○

○は賛成、×は反対、除は除斥、欠は欠席。 ※船木議長は本会議の採決に加わらない。

ふるさと岩美への

感謝のメッセージ

岩美中学校長として10年、ふるさと岩美の中学生の教育に尽くした田後出身の戸田倫弘（とだみちひろ）さんにメッセージを寄せていただきました。



戸田 倫弘さん

平成17年4月、岩美中学校の校長として赴任しました。着任してまもなく、岩美町に初めて勤務する十数名の小中学校の先生とともに、議会関係者にご挨拶に行きました。

その際、当時の津村議長、竹内副議長より「校長さん、きちんとあいさつのできる中学生を育ててください。」という言葉をいただきました。

私はその言葉を重く受け止め、「明るいあいさつのできる」をめざす生徒像として取り組んできました。毎朝、校門に立ち、「〇〇君、おはよう。〇〇さん、おはよう。」と一人ひとりの生徒の名前を呼び、迎えました。また、全校集会でもあいさつの必要性や重要性を生徒に話しました。

あいさつのできない生徒、声の小さい生徒、目を合わすことのできない生徒が、私を向いて、大きな声で、明るくあいさつをしてくれるように変わっていきました。地域の方々から「中学生のあいさつが、とてもいい」とお

褒めの言葉をいただくようになりしました。

中学生を変えたのは、地域の行事や伝統行事、奉仕活動などに中学生を積極的に呼び込んでいただいた自治会関係者のおかげです。岩美中学校の生徒は、家庭や学校、地域で認められることで、役立ち

感・自己有用感を高めていったのです。

生徒・先生・保護者・地域の方々、皆さんのご支援、ご協力でめざす生徒像が達成できたと自負しています。心より感謝しています。ありがとうございました。



登校する生徒を迎える戸田校長（当時）

編集後記

議会だよりは、町民に分かりやすく読みやすいものにと、編集時には常に心がけてきました。

先日、議会だよりを隔々まで読んでいるという方から、「事業の自身がよく分からない」という指摘をいただきました。

町民に分かりやすい議会だよりには、さらに努力します。

2月臨時会では地方創生に向けた取り組みの予算が盛り込まれ、「人口減少」に歯止めをかけるための取り組みを始めました。

町民のご意見をいただきながら、地方創生に、議会も取り組んでいきます。

議会だより調査特別委員会委員

議長	船木 祥一
副議長	柳 正敏
委員長	田中 克美
副委員長	芝岡みどり
委員	日出嶋香代子
委員	田中 伸吾
委員	川口 耕司
委員	宮本 純一
委員	杉村 宏
委員	寺垣 智章